

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年 9月25日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I : 該当なし

区分 II : 該当なし

区分 III : 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	2号機	エリア放射線モニター系No. 36(排ガスパッケージA室)において、下限警報の頻発が認められたため、当該放射線モニターを点検・修理。 なお、指示値の監視は可能。	GⅢ	9月24日
2	2号機	エリア放射線モニター系No. 37(排ガスパッケージB室)において、下限警報の頻発が認められたため、当該放射線モニターを点検・修理。 なお、指示値の監視は可能。	GⅢ	9月24日
3	2号機	エリア放射線モニター系No. 39(高圧復水ポンプ室)において、下限警報の頻発が認められたため、当該放射線モニターを点検・修理。 なお、指示値の監視は可能。	GⅢ	9月24日
4	4号機	非常用ディーゼル発電設備(B)制御盤室扉(清水膨張タンク側)において、レバーハンドル外れが認められたため、当該ハンドルを交換。	対象外	9月23日